

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	11	学校名	静岡県立三島南高等学校	校長名	望月 和之
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

三島・田方地区の中央に位置する、地域に根差した全日制普通科高校として、課題を発見し（知）、他者と連携・協力しながら（仁）、課題解決に向けて行動する（勇）力を身に付ける教育を通して、校訓「自覚」に象徴される、主体的に学んで自らの人生を切り拓き、地域に貢献する人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見する力（知）、他者と協力する力（仁）、課題解決に向けて行動する力（勇）を身に付けている。 ・主体的に学び続け、自らの人生を切り拓く意思を持っている。 ・地域社会に参画して、自らの役割を果たし貢献する意欲を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる教育活動において、課題を発見する力（知）、他者と良好な関係を築き協力する力（仁）、課題解決に向けて行動する力（勇）を育成する。 ・心身ともに健康で、グローバルな視点を持つ、人間性・社会性豊かな生徒を育成する。 ・学習に主体的に取り組み、自らの進路目標を定めて、それを実現する学力を身に付けた生徒を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校訓「自覚」に基づき、授業、学校行事、生徒会活動や部活動などの学校生活に、意欲的かつ主体的に取り組もうとする生徒 ・豊かな感性と教養を身に付け、他者と協力して身の回りの課題を解決していこうとする生徒 ・将来、地域社会に参画し、その発展に貢献しようとする意志がある生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣を身につけ、常に自覚ある行動ができる生徒を育成する。
- イ 学習に主体的に取り組み、学びを深めようとする生徒を育成する。
- ウ 自らの進路や生き方について深く考え、それを実現できる基礎的能力・学力を有する生徒を育成する。
- エ 特別活動や部活動を通して、心身ともに健康で人間性・社会性が豊かな生徒を育成する。
- オ 芸術に関する授業や行事等を通して感性を培い、表現力豊かな生徒を育成する。
- カ グローバルな視点で考え行動し、社会で活躍できる自律的な生徒を育成する。
- キ 学校運営協議会を通して地域連携を深め、地域課題の解決を目指す教育活動を行う。
- ク 生徒の健康・安全を第一に考え、安心・安全な学校づくりを徹底する。
- ケ 教職員自らが資質能力の向上に取り組むとともに、学校組織の活性化を図る。
- コ 教職員の多忙解消のため、業務改善を推進しつつ、事務を適正かつ効率的に執行する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣を身につけ、常に自覚ある行動ができる生徒を育成する。	生徒スローガン『われらの自覚～三南Pr ide～』の推進 代議委員会と職員による登校指導の実施 カジュアルデーの継続 初期指導（挨拶・身だしなみ）の徹底 生徒自ら考える交通安全教育の推進	①「正しい身だしなみ」、「自ら進んで挨拶」「登下校マナー」「三南生として自覚ある行動」ができた生徒 90%以上 ②重大な交通事故 ゼロ 生命を考える教育 年1回実施	生徒支援課

様式第1号

		自主的な校内美化活動の推進 美化委員会の活性化	①「美化活動に積極的に取り組む」生徒 80%以上	生徒支援課
イ	学習に主体的 に取り組み、 学びを深めよ うとする生徒 を育成する。	「観点別評価の実施と点検・改善」 思考力・判断力・表現力を身につける授業 の推進 効果的なICT活用による授業改善 授業以外の自主的学習の充実	①「授業に集中して取り組む」生徒 90%以上 ②「教材や教え方に工夫があり、授業内 容が充実」と回答する生徒 85%以上 ③「自主学習をよくしている」生徒 前年度以上	教務情報課 教科 学年
		進路視点に立った科目選択説明会の実施 高大連携事業（校外学修、順天堂大学との 連携等）の推進	①「興味、関心、適性、進路に合った文 理選択、科目選択ができた」生徒 85%以上 ② 高大連携学習の機会 前年度以上	教務情報課 進路課 教科
		読書活動の推進（読書週間の充実、図書館 活用促進）	①「一斉読書活動に前向きに取り組ん だ」生徒 80%以上 ②「学校図書館は利用しやすい」と感じ る生徒 70%以上	図書探究課
		各種検定への自発的受検の推進・上位級合 格（簿記、情報処理、英語検定等）	① 受検した検定の合格率 80%以上 ② 英検対策講座受講者数 前年以上	教科
ウ	自らの進路や 生き方につい て深く考え、 それを実現で きる基礎的能 力、学力を有 する生徒を育 成する。	進路情報の積極的な発信（講演会、進路行 事、進路の手引き、HP等） 進路検討会、個別面談指導の充実	①「進路説明会、ガイダンス、行事が充 実している」と回答する生徒 80%以上 ②「進路情報、進路相談が充実してい る」と回答する生徒 80%以上	進路課
		キャリア教育の充実（大学訪問、進路講演 会、自己・社会探究等） 職員の進路指導力の向上	①「自覚探究の活動に興味・関心を持 って取り組んでいる」生徒 80%以上 ②「進路指導の研究を深めている」教員 80%以上	図書探究課 進路課
		1・2学年次からの個に応じた学習支援 進路意欲の更なる向上 小論文・面接指導、進学補習、特進プレ講 座の充実	①「学習・進路支援に満足している」 生徒 80%以上 ②「進学指導・講座の内容に満足してい る」生徒 80%以上	進路課
エ	特別活動や部 活動を通し て、心身とも に健康で人間 性・社会性が 豊かな生徒を 育成する。	生徒会活動、委員会活動の活性化	①「生徒会活動・委員会活動は活発であ る」と回答する生徒 80%以上 ②「学校行事は充実している」と回答す る生徒 80%以上	生徒支援課
		部活動の自主的、自発的な取組 部活動指導員、外部指導者の活用推進	①「部活動に充実感を得ている」生徒 85%以上 ②「部活動指導員、外部指導者の指導は 役立つ」と回答する教員 90%以上	部活動
オ	芸術に関する 授業や行事等 を通して感性 を培い、表現 力豊かな生徒 を育成する。	芸術科教科発表会・展示会の充実	①校内や外部団体と連携した授業発表の 実施 5回以上 ③ 観客動員数 前年以上	教科
		芸術発表会の広報活動の拡大 芸術鑑賞教室の実施	①「内容に満足している」生徒 80%以上	図書探究課
カ	グローバルな 視点で考え行 動し、社会で 活躍できる自	国際交流の推進と機会の充実	①「海外研修に興味がある」生徒 40%以上 ②「機会があれば国際交流に参加してみ たい」生徒 40%以上	国際交流 委員会

様式第1号

	律的な生徒を育成する。	地域連携活動の推進	①「課外活動（部活動やボランティア活動など）において地域と交流・連携した」生徒 70%以上	生徒支援課 部活動 学年
		積極的な情報発信（HP、学校紹介ビデオ等）	①HP更新の推進 年300回以上 ②各部活動ページ更新 年間3回以上	教務情報課 分掌・学年 部活動
キ	学校運営協議会を通して地域連携を深め、地域課題の解決を目指す教育活動を行う。	学校運営協議会（コミュニティー・スクール）の活用 地域課題の発見、その解決に向けた取組の推進 持続可能なPTA活動の推進	①学校運営協議会 年4回実施・活用 ②地域課題の解決に関連した取組 前年度以上 ③「自覚探究の活動に興味・関心を持って取り組んでいる」生徒 80%以上 ④「PTA活動は参加しやすい（負担感が少ない）」と回答する保護者 80%以上	管理職 図書探究課 学年 教科 総務研修課
ク	生徒の健康・安全を第一に考え、安心・安全な学校づくりを徹底する。	生徒の健康管理意識の向上 保健委員会の活性化	①保健日より発行 月1回 ②検診治療率の向上 前年度以上	生徒支援課
		健康観察の徹底と不安や悩みを抱えた生徒の支援（いじめや悩みの早期発見・早期対応、スクールカウンセラーとの連携による深い生徒理解）	①「悩みに応じてくれる先生がいる」生徒 85%以上 ②生活アンケート実施 年2回以上	生徒支援課 学年
		生徒の防災意識の向上（防災及び緊急時マニュアルの周知徹底、防災訓練 年3回、熱中症予防講習等）	①緊急時に保護者との連絡体制が確認できている生徒 90%以上 ②「防災安全意識の向上」生徒 80%以上	総務研修課 生徒支援課
ケ	教職員自ら資質・能力の向上に取り組むとともに、学校組織の活性化を図る。	授業力の向上（授業参観、校内研修） 探究的活動の指導力とICT活用力の向上 人権、危機管理に関する研修（校内研修※不祥事根絶研修を含む）	①相互授業参観期間 年2回 ②「主体的・対話的で深い学び等工夫した授業を実践している」教員 100% ③「授業に探究的活動（思考・判断・表現力育成）の場面を設定」教員 100% ④「ICT活用力の向上に取り組んでいる」教員 100%	総務研修課 教務情報課 管理職
		相互協力体制での業務実施と情報共有	①「風通しの良い職場環境」と回答する職員 80%以上	管理職 分掌 学年
コ	教職員の多忙解消のため、業務改善を推進しつつ、事務を適正かつ効率的に執行する。	持続可能な業務遂行に向けての改善取組 「一人一改革」の視点の実践 定時退勤日の設定・最終退勤時間を超えない働き方の推進 部活動ガイドラインによる適正な部活動運営	①各教科、学年、分掌における「業務改善・削減のための取組」 1件以上 ②定時退勤日、最終退勤時間の設定と実施 ③適切な部活動時間と休養日の設定と実施	管理職 教科 学年 分掌 部活動
		『学校の顔』として、さわやかで的確な接遇 安心・安全の確保と、より良い教育環境の整備	① 対応クレーム件数 ゼロ ②「施設が整備されている」と回答する生徒 80%以上	事務部

※「成果目標」欄の「……」は、学校生活(生徒)・学校評価(保護者・教職員)アンケート等の項目